

道の駅「越前<sup>えちぜん</sup>おおの<sup>あらしま</sup> 荒島<sup>さと</sup>の郷」の来場者数が約25%増加  
～ 一般国道158号 大野油坂道路<sup>おおの あぶらさか</sup>の整備効果 ～

国道158号 中部縦貫自動車道<sup>ちゅうぶ じゅうかん</sup> 大野油坂道路<sup>おおの あぶらさか</sup>（延長35.0km）のうち、  
大野IC<sup>おおの</sup>～勝原IC<sup>かどはら</sup>間（延長10.0km）が令和5年3月19日に開通してから3ヶ月が  
経ちました。

この度、開通後の整備効果をとりとまとめましたので、お知らせします。

## ■開通による整備効果

### ①更なる観光客の増加が期待

- 開通後1ヶ月で、道の駅「越前<sup>えちぜん</sup>おおの<sup>あらしま</sup> 荒島<sup>さと</sup>の郷」の来場者数が約25%増加  
（道の駅の約1ヶ月の来場者数 約4.6万人⇒約5.8万人）

### ②沿線地域への企業進出

- 大野市<sup>ちゅうぶ じゅうかん</sup>は、中部縦貫自動車道による中京圏との交通アクセスを活かした  
産業団地整備の取り組みを進め、令和3年4月から全区画の分譲を開始
- 中部縦貫自動車道（大野IC～勝原IC）の開通にあわせてアウトドア用品  
メーカーが新たに立地

### ③救急搬送の速達性・安定性の向上

- 大野IC<sup>おおの</sup>～勝原IC<sup>かどはら</sup>間の所要時間が約4割の短縮（約16分⇒約10分）
- 横揺れが少ない安定した走行が可能に（横揺れ発生頻度 24.9%⇒1.3%）

<取 扱 い>

<配 布 場 所>

近畿建設記者クラブ  
福井県政記者クラブ

大手前記者クラブ

<問 合 せ 先>

国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所

副所長 ぬま かつお 沼 勝雄 （内線 205）

計画課長 おおもり こういち 大森 功一 （内線 261）

TEL 0776-35-2661（代表）





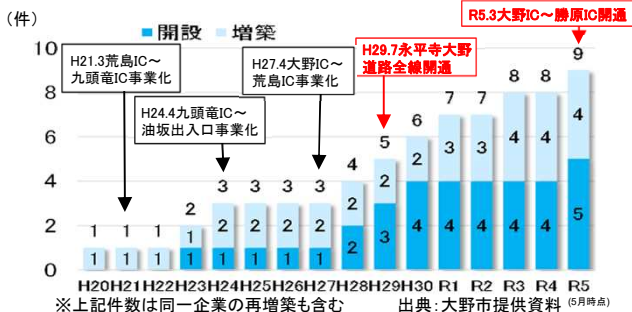
# 整備効果② 新たな産業団地の整備

- 大野油坂道路の整備に合わせて、大野市内の雇用機会を確保するため、荒島ICから車で5分の場所に新たに富田産業団地を整備し、R3.4月から全区画の分譲を開始
- 中部縦貫自動車道の開通を見越して大手アウトドア用品メーカーなどの企業が、**大野市内に進出**しています。

## 大野油坂道路沿線の企業立地



## 大野市の進出・増築企業の推移(累計)



## ～新規進出企業の声～



中部縦貫自動車道が全線開通すれば、中京圏・首都圏へのアクセスが良好となるため、当社の国内2か所目の物流センターを大野市に立地しました。

今回開通により、商品搬送の時間が短縮していることから、今後の全線開通の際には全国への搬送がさらに便利になると期待しています。

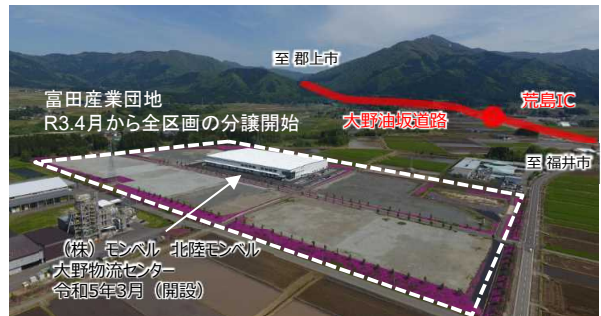
出典:ヒアリング調査(北陸モンベル大野流通センター R5年6月)

## ～大野市産業政策課の声～



大野油坂道路の開通により、中京圏との交通アクセスの向上が見込まれることから、大野市では、工場等用地取得助成金等の優遇制度を設け新たな企業立地による雇用機会の確保に取り組んでいます。

北陸モンベル大野物流センターの立地は、当地域でも話題性が高く、大野油坂道路整備が企業立地を促進していると感じています。今後の全線開通により、さらなる企業進出が期待されます。



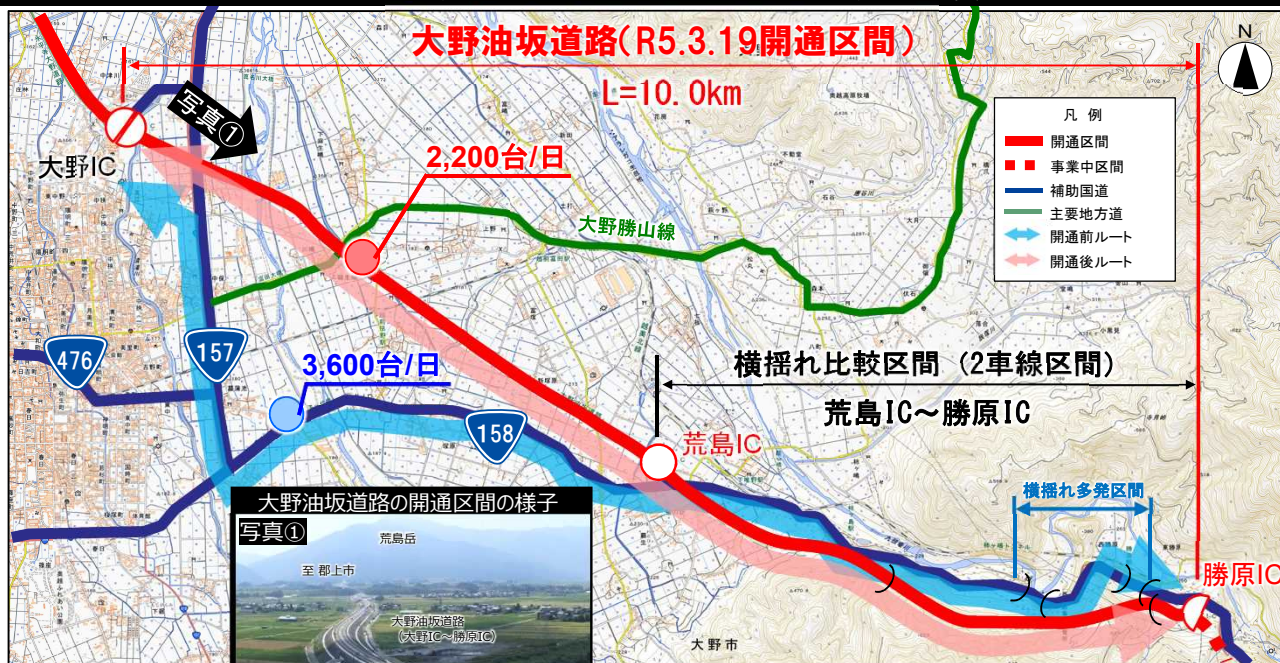
出典:ヒアリング調査(大野市産業政策課 R5年6月)



# 整備効果③ 救急搬送の速達性・安定性の向上

- 中部縦貫自動車道(大野IC~勝原IC)の開通により、**所要時間が約4割(6分)短縮**しました。
- 荒島IC~勝原IC間は、並行する国道158号と比較して、**横揺れの発生頻度が約24%(ポイント)低減し、安定した走行が可能**になりました。
- これら所要時間短縮による速達性確保、横揺れ低減による走行安定性の向上により、安全で快適な移動のほか救急搬送時における**患者・救急隊員の負担軽減による医療活動支援も期待**されます。

## 開通前後の走行ルートの変化と交通転換



※国道158号の交通量はR5.5.23(火) 7時~19時(12時間)の観測交通量に令和3年度全国道路・街路交通情勢調査の昼夜率を乗じて算出。  
 大野油坂道路の交通量はR5.5.23(火)の常時観測データ

## 横揺れが少ない安定した走行に

横揺れの発生頻度(荒島IC~勝原IC)  
 大野油坂道路・国道158号共に2車線整備の区間で比較



路線	横揺れ回数(回)	サンプル数(台)	発生頻度
国道158号	1,182	4,744	24.9%
大野油坂道路	25	1,894	1.3%

**約24%低減!**

※横揺れ回数: 横加速度±0.25G発生回数 出典: ETC2.0プローブデータ 7~18時台  
 ※横揺れ発生頻度=横揺れ回数/ETC2.0走行サンプル数 (開通前: R4.4平日、開通後: R5.4平日)

## 大野~勝原間が約4割短縮

所要時間(大野IC~勝原IC間)

【開通前】国道158号経由

約16分

【開通後】大野油坂道路経由

約6分  
短縮

約10分

大野IC

勝原IC

出典: 【開通前】ETC2.0プローブデータ 7~18時台 上下平均所要時間  
 【開通後】大野油坂道路 規制速度60km/hより計算

## ~大野市消防本部の声~



大野IC~勝原IC間の開通により、国道158号に比べてカーブ区間が減少し、幅員も広く走り易くなったため、傷病者の負担が減少しています。

残りの区間についても開通により、傷病者への負担軽減、救急隊が安定して救急処置を行えることに期待しています。

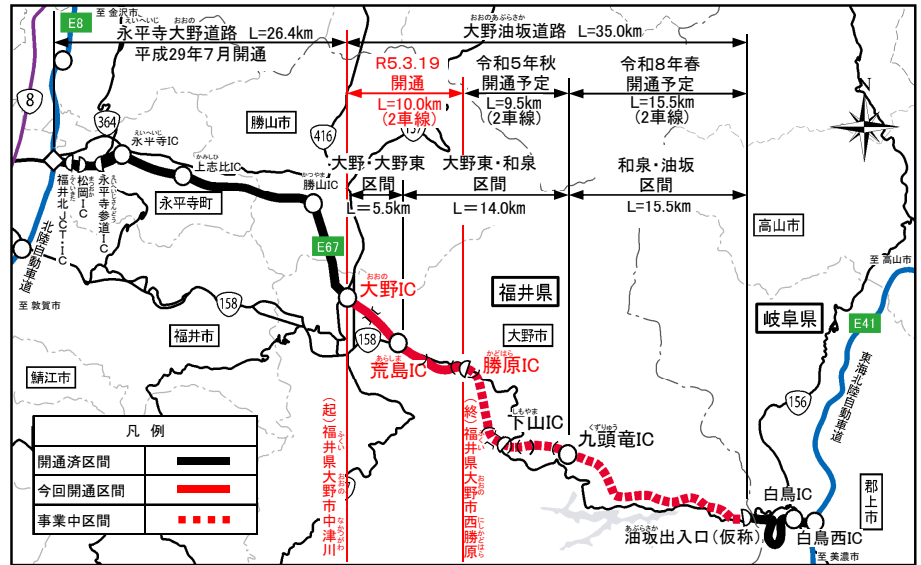
出典: ヒアリング調査(大野市消防本部 R5年5月)

# 事業の概要

中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、奥越地方を通過し、福井県に至る約160kmの高規格幹線道路(自動車専用道路)であり、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的としています。

大野油坂道路は、中部縦貫自動車道の福井県域を構成し、高速道路ネットワークの形成、異常気象時の交通の確保、文化・地域の資源を生かした地域の活性化を目的とした自動車専用道路です。

## 【位置図】



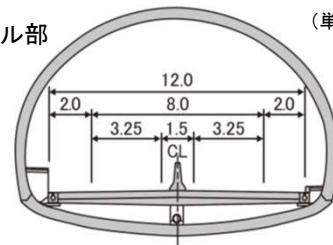
凡例	
中部縦貫自動車道	
開通済区間	——
今回開通区間	——
事業中区間	----
他の高速道路	
開通済区間	——

凡例	
開通済区間	——
今回開通区間	——
事業中区間	----

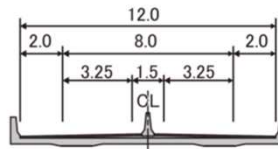
## 【事業の概要】

区間	大野油坂道路	大野油坂道路
	【大野・大野東区間】 (起) 福井県大野市中津川 (終) 福井県大野市下唯野	【大野東・和泉区間】 (起) 福井県大野市下唯野 (終) 福井県大野市貝血
道路延長	5.5km	14.0km
構造規格	第1種4級	第1種4級
設計速度	60km/h	60km/h
車線数	2車線	2車線
標準幅員	13.0m	13.0m

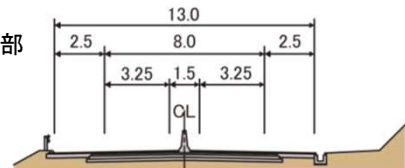
### ●トンネル部 (単位:m)



### ●橋梁部



### ●土工部



## 【主な事業の経緯】

区間	【大野・大野東区間】	【大野東・和泉区間】
事業化	平成27年度	平成20年度
用地着手	平成30年度	平成24年度
工事着手	令和元年度	平成26年度